

令和5年度グリーンスローモビリティ運行実験結果について

1. 運行実績

運行期間・運行日

令和5年9月15日（金）～11月13日（月）

運行期間中の金曜日、土曜日、日曜日、月曜日 計 34 日間

※10月9日は出雲駅伝のため、10月29日はだんだん祭りのため運休

※11月3日は灯台ワールドサミット in 出雲の開催記念パレードのため、A
コースの2,3便を運休

運行ルートと停留所

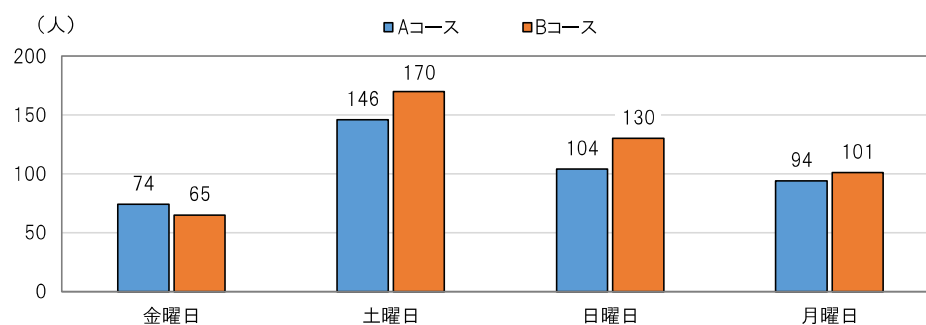


運行ルート図

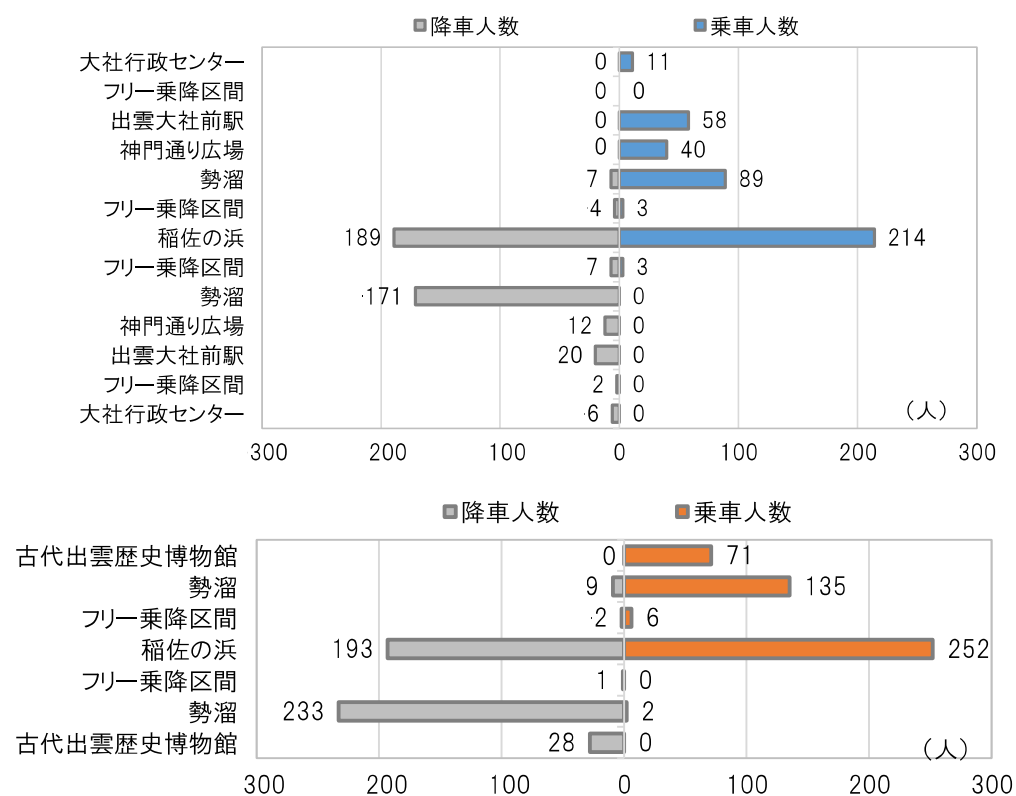
2. 利用実績

コース別延べ利用者数

コース	延べ利用者数	1 便あたりの利用者数
A コース（大社行政センター～稲佐の浜）	418 人	1.87/便
B コース（古代出雲歴史博物館～稲佐の浜）	466 人	1.81/便



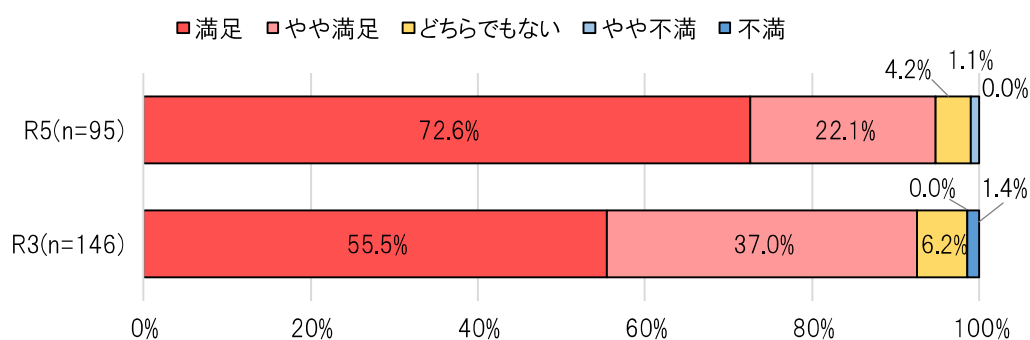
曜日別延べ利用者数



停留所別乗降者数（上：Aコース、下：Bコース）（再掲）

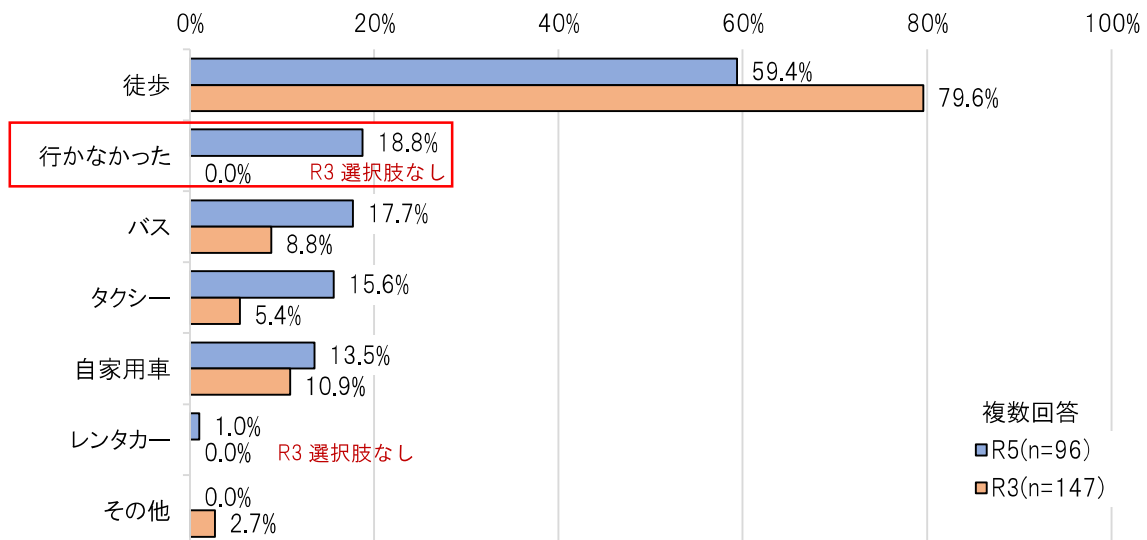
3. 満足度

「総合的な満足度」における「満足」の割合は R3 年度と比較して高くなっています。



4. 回遊性の向上

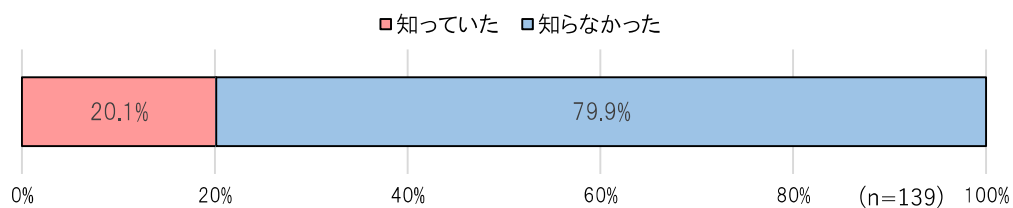
- ・ GSM が運行していなかった場合、そもそも降車地まで「行かなかった」という人が 18.8%いる。



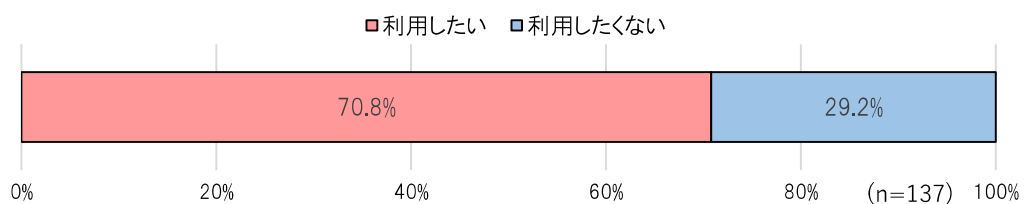
GSM が運行していなかった場合の降車地までの移動手段

5. 観光客の利用意向

- ・ 回答者の 79.9%が「グリーンスローモビリティ（以下 GSM）の運行について知らなかった」と回答
- ・ サービス内容を説明したところ「利用したい」と回答した人が 70.8%であったことから、観光客の GSM に対するニーズがある



GSM の運行に対する認知状況



GSM の利用意向

6. 実験の成果と今後の課題

<実験の成果>

- ・利用者のサービスに対する満足度は高い
- ・利用者の2/3は、運賃400円について妥当であると回答
- ・出雲大社周辺地域における回遊性の向上に一定の効果がある
- ・観光客の約70%がGSMを「利用したい」と回答、観光客のニーズがある
- ・1日フリー乗車券といったお得な運賃設定について要望がある
- ・電子チケットに対する購入意向が高い
- ・周辺店舗・飲食店の割引クーポンを希望する人が多い

<今後の課題と解決案>

- ・今回の実験程度の運賃収入のみで運行を維持していくことは難しい
移動需要の多い期間・曜日・区間等から、段階的な運行を考える
広告収入など運賃以外の収入の確保に向け、関係者と検討・協議
- ・雷による運休、渋滞に巻き込まれて大幅に遅延したことの対応
避雷機能が備わっている車両の検討
運行日の検討や渋滞対策を合わせた検討
運休や遅延が発生した場合の情報提供について検討
- ・観光客へのPR・周知不足
利用者増加に向けて情報提供を強化する
- ・運行体制の構築
出雲市を中心に運行事業者、商工会等の関係者による連携を検討

7. 今後のGSM運行について

今後のGSM運行については、出雲大社周辺の賑わいになること、旧大社駅まで運行させることによりまち歩きのエリアが拡がり沿線地域の活性化になること、出雲大社周辺の渋滞対策として2次交通の手段のひとつとなることから、今年度出雲市低速モビリティ導入社会実験協議会の事務局を行った課で今回の実験結果から得られた成果と課題を整理し、今後の運行に向け検討します。